

ミモザ弦楽四重奏団

Mimosa String Quartet Recital vol.6

H.ヴォルフ：イタリア風セレナーデト長調

F.J.ハイドン：弦楽四重奏曲 第38番 変ホ長調 Op.33-2「冗談」

L.v.ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第12番 変ホ長調 Op.127

心おどるヴォルフ、
心ほどけるハイドン、
心ふかまるベートーヴェン。

2026. 3/15 日 14:00開演 13:30開場

会場

中板橋 マリーコンツェルト

チケット

全席自由：3,000円

お問い合わせ

quartetmimosa@gmail.com

お申し込み

下記QRコード（申し込みフォーム）またはメールアドレスよりお申し込みください。



◆お申し込み◆



◇お問い合わせ◇

企画・主催：ミモザ弦楽四重奏団

第10回
定期演奏会

photo by Ayane Shindo



ミモザ弦楽四重奏団

国内外で室内楽の研鑽を積んできたメンバーが2021年に集結。

毎年定期演奏会を開催するほか、2022年5月丸の内ミュージックフェスエリアコンサート出演し、亀井聖矢、高橋洋太、尾城杏奈の各氏と共演。2023年よりかもがわ古民家stay&playの会主催の地域音楽プロジェクトに参加。公共施設・教育機関でのアウトリーチ活動やオンラインコンサートなど積極的に活動する。東音企画所属アーティスト(室内楽部門)。

「ミモザ」の名前はミモザの花に由来する。その花言葉は「友情」。
これまで音楽に真摯に向き合う姿を間近に見てきた仲間ならではのアンサンブル、
ミモザの小さな花が集まり、樹全体が黄色く染まる様を音楽で創造する決意を込めて。



◇公式Webサイト◇

高橋渚 -2nd Violin

桐朋学園高等学校音楽科卒業、国立ベルリン芸術大学に入学、ディプロム課程を卒業後、ソリストマスター課程に進学し卒業。ドイツベルリンオペラにて2年間アカデミー生として研修を積む。ヴァイオリンを茂木佳子、藤原浜雄、T.トマシェフスキーの各氏に師事。全日本学生音楽コンクール入賞。ドバイ・国際ヤングヴィルトゥオーソコンクール第3位、ベルリン・国際ヒンデミットコンクール第3位受賞。オンディーヌ室内管弦楽団、新ベルリン交響楽団と共演。

前田奈緒 -1st Violin

11歳で渡英。ロンドンでイフラ・ニーマン、パリでミシェル・オークレールのもとで学ぶ。英国王立音楽院ジュニアアカデミー、東京芸術大学附属音楽高等学校を経て、同大学卒業。大阪国際音楽コンクール第1位、全日本学生音楽コンクール全国大会第1位、日本音楽コンクールファイナリスト。サントリーホール室内楽アカデミー第1期フェロー。2019年文化庁新進芸術家海外研修員として英国に留学。2022年東京文化会館にてリサイタルを開催。東京芸術大学演奏講師、芸大フィルハーモニア管弦楽団第1ヴァイオリン奏者。

高橋梓 -Viola

東京芸術大学附属音楽高校、同大学を経て、同大学院音楽研究科修士課程修了。サントリーホール室内楽アカデミー第1・2期で研鑽を積む。ヴィオラを菅沼準二、C.ルローン、大野かおるの各氏に師事。第3回独・クッケンブリュック国際芸術コンクール第1位、第9回日本演奏家コンクール第1位及び芸術賞、第7回仏・ポルドー国際弦楽四重奏コンクール特別賞等受賞。これまでにNHK-FM「名曲リサイタル」、新進演奏家育成プロジェクト、サントリーホール チェンバーミュージック・ガーデン等に出演。

印田陽介 -Violoncello

東京藝大附属音楽高校を経て、同大学音楽学部を卒業後渡欧、チェコ・ブラハ音楽院に学ぶ。ヴァイオリニストの姉・印田千裕とのデュオでは2012年より毎年リサイタルを開催し、ヴァイオリンとチェロの二重奏という編成の可能性を追求している。邦人作品も積極的に取り上げており、新曲初演も多い。室内楽を中心に、ソロ、オーケストラやレコーディング、YouTubeから現代音楽まで、幅広く活動する。CD「Water Droplets -珠玉のデュオ名曲集-」「菅原明朗器楽作品集(無伴奏セロソナタ)」など多数リリース。

マリーコンツェルト (東京都板橋区中板橋18-11)

- 東武東上線中板橋駅北口より徒歩3分
- 都営三田線板橋本町駅A3出口より徒歩13分
- 中板橋駅入口バス停より徒歩5分

赤31(関東バス、国際興業バス) 赤31-2(国際興業バス) 王78(都営バス)

※専用の駐車場はございません。近隣のコインパーキングをご利用になるか、公共交通機関でのご来場をお願い致します。

